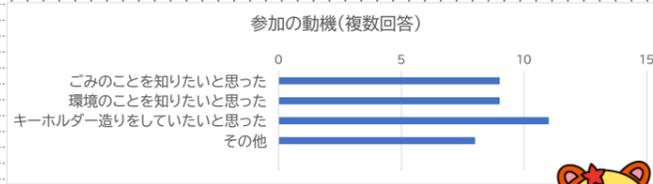
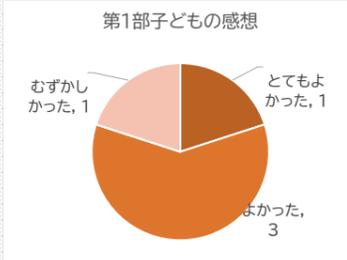


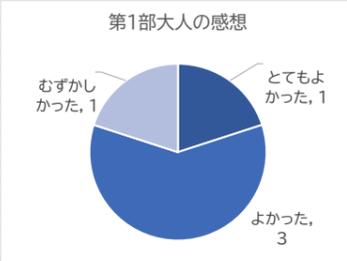
第1回ごみゼロカフェ 参加者の感想



第1部(講義)について

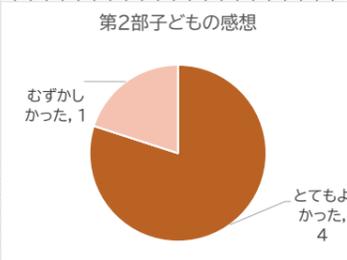


- ・すごくいろいろな所で様々なリサイクルやプラ削減、MSCマーク等の活動をしていて大規模だった。
注)MSC(Marine Stewardship Council:海のエコラベル)環境に優しい漁業で獲られた魚介類につけられる。
- ・今回の講義で今まで知らなかったLOOP活動等が知れてとても勉強になった。また、ラベルはどのようにエコなのか気になった。
注)Loop(ループ):従来、使い捨てられていた洗剤やシャンプーの等の日用消耗品や食品等の容器や商品パッケージを、ステンレスやガラスなど耐久性の高いものに変え、繰り返し利用を可能にする新たな商品提供システム。

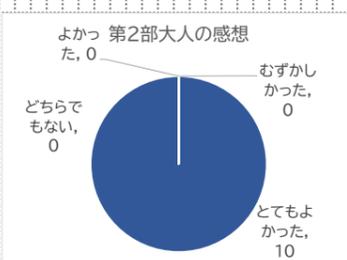


- ・日本の大企業で働いている人たちが、どのように理解し、行動しようとしているか、ホームページからではなく社員の方から聞くのは面白いと思った。
- ・食ロス、サステナブル等についてイオンの現状分析の説明と、その取組をイメージしやすく、自分事により全体(今の社会問題)につなげていく話は、分かり易くとても良かった。聞いた人は、今からでもできることを考えて実践につなげていこうと思う。企業の取組が社会に与える影響の重要性を改めて感じ、イオングループにとっても好感をもった。

第2部(工作)について



- ・初めての体験で楽しかった。
- ・皮を打つのが楽しかった。
- ・自分だけのキーホルダーが作れて楽しかった。



- ・お酒落で、本当にアップサイクル！されていますね！ふだん皮作りは家でできないので、イベントで楽しく環境問題を考えられるのは良いです。
- ・夢中になって作りました。発想が良いですね。物を大切に最後まで生まれ変わって使えることは良いですね。
- ・一つの品物が使用終了し整理するのではなく再利用し新しい命を生み、使用していくことを学びました。
- ・廃ボールが生まれ変わり、身近な愛用品になって素敵だった。

今後希望する講座等

- 〈子どもの意見〉
- ・廃材を使ったカレンダー作り
 - ・アニメ作成

- 〈大人の意見〉
- ・リサイクル工場見学
 - ・“脱炭素アクションみぞのくち”の成果(結果)

～ごみゼロサポーターになりませんか？～

“ごみゼロカフェ”は、様々な市民が施設見学や講師からのお話を通して、ごみの減量化・資源化について考えるイベントとして年3回開催します。カフェのようにくつろぎながら意見交換し、ごみの減量化のアイデア出しをしていきます。“ごみゼロカフェ”では、ワークショップの進行や受付等運営のお手伝いをさせていただく“ごみゼロサポーター”を募集しています。

▼サポーターの詳細はこちら▼

川崎市ごみゼロカフェ



お問合せ先

川崎市環境局生活環境部減量推進課
TEL:044-200-2580 FAX:044-200-3923 E-Mail:30genryo@city.Kawasaki.jp



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



第1回ごみゼロカフェ 開催報告

ごみゼロカフェ NEWS

企業の環境への取組とアップサイクル工作の体験講座

親子でも楽しく学べる環境講座として、私たちの身近な企業の環境への取組の講義と、サッカーボール等の廃ボールを利用したアップサイクル工作を体験できる2部構成で開催しました。スーパーマーケットという身近な視点から捉えたとても興味深い講義と、廃ボールを利用したとは思えない仕上がり的工作に参加者一同有意義な時間を共有できました。

第1部

私たちの環境への取組について
～持続可能な社会の実現に向けたイオンの取組～

講師:イオン株式会社
環境・社会貢献部 瀬川 俊 氏



第2部

廃ボール(サッカーボール等)を利用した
オリジナルキーホルダー作り

講師:株式会社SKLO
代表取締役 齊藤 倫平 氏 他

協力:川崎フロンターレアカデミー・スクール



第1回 ごみゼロカフェ 開催概要

- 《開催日時》 2022年10月8日(土)10:00～11:45
- 《開催場所》 高津市民館
- 《参加者》 15名(大人10名 子ども5名)
- 《内容》 身近な企業の環境への取組の講義と、アップサイクルとして廃ボールを利用したオリジナルキーホルダー作りの2部構成の講座として開催。





本講座では、講義と工作の2部構成で開催しました。
参加者は、小学生～中高年の幅広い層の方にご参加いただき、どの年代にも分かり易い内容で、とても有意義な時間となりました。
また、各講座への感想の時間を設け、参加者同士での共有もしました。



第1部

私たちの環境への取組について ～持続可能な社会の実現に向けたイオンの取組～

イオン株式会社 環境・社会貢献部 瀬川 俊氏により、イオングループの環境への取組について講義をいただきました。
途中クイズも交えながら、子ども達にも分かり易い内容の講義は、とても好評でした。

主な講義内容としては・・・

- ・日本のごみの現状とイオングループのごみの現状について
- ・イオングループのサステナブルの取組紹介として、“PET to PETの商品開発、イオンLOOP”等の環境配慮型商品の紹介について
- ・FSCマーク、MSCマークの取組、フェアトレード商品の導入について
- ・真空パックによる容器のプラスチック削減について

注)FSC(Forest Stewardship Council:森林認証制度)環境を守るために、管理された森林から作られた製品であることを表す。

注)MSC(Marine Stewardship Council:海のエコラベル)環境に優しい漁業で獲られた魚介類につけられる。

注)Loop(ループ):従来、使い捨てられていた洗剤やシャンプー等の日用消耗品や食品等の容器や商品パッケージを、ステンレスやガラスなど耐久性の高いものに変え、繰り返し利用を可能にする新たな商品提供システム。

など、消費者の立場から興味深い内容でした。



イオン株式会社 環境・社会貢献部 瀬川 俊氏



LOOP商品の紹介



環境配慮型商品の紹介



参加者からの質問一例

- Q** トレイが大きくて中身が少ない物が多いので、小さい容器にしてはどうか？
MSCマークの魚の取組は売り場でビデオを流しているのが分かり易い。
- A** トレイレスを進めているため、社内で共有する。
情報発信方法の提案をいただき感謝。取組の背景も含め情報発信していきたい。
- Q** この講座でマークを見て買い物すると良いことが分かったが、市民の声はどのように伝えることができるのか？
- A** 店舗には、お客様の意見を入れるボックスがある。また、イオンのホームページからも意見を届けることができ、可能な限り対応している。

参加者からは
積極的なたくさんの
質問がありました！



参加者の様子

第2部

廃ボール(サッカーボール等)を利用した オリジナルキーホルダー作り

スポーツの分野でも廃材が多く発生することに注目し、廃材からのアップサイクルの取組を始めた株式会社SKLOを講師に、子どもから大人まで楽しめる工作の時間を設け、オリジナルキーホルダー作りを行いました。
今回使用した廃材は、“川崎フロンターレアカデミー・スクール”のご協力を得て、サッカーボールの廃材を活用しました。



株式会社SKLO 代表取締役 齊藤 倫平氏(写真右)



廃ボールを活用した作品の数々



工作の様子

